

租税教育実践事例(第6学年)

登米市立米谷小学校

教諭 阿部 亘平

- 1 単元名 わたしたちの生活と政治
小単元名 震災復興の願いを実現する政治

2 指導にあたって

(1) 単元について

本単元では、学習指導要領の目標「(2)日常生活における政治の働きとわが国の政治の考え方及びわが国と関係の深い国の生活や国際社会におけるわが国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。」の内容について学習する。

児童の多くは、なぜ税金を納めなくてはいけないのか、税金はどのように使われているのかについて詳しく理解していない。そこで、本単元の学習を通して私たちの生活は税と深く関わっており、豊かな暮らしを実現するためには税金はなくてはならないものだということを気付かせたいと考える。

3 単元目標

(1)社会的事象への関心・意欲・態度

税金の働きについて関心をもち、意欲的に調べようとしている。

(2)社会的事象についての知識・理解

税金の働きや必要性について理解することができる。

4 学習計画

時	学習内容	指導上の留意点
1	【東日本大震災の発生】 ・東日本大震災発生後の復旧の様子に関心を持ち、学習問題をつくる。	・震災に関する学習に抵抗がある児童がいらないかを事前に確認する。資料をもとに、被災者の気持ちに気付かせる。
2	【東日本大震災への緊急対応】 ・東日本大震災発生直後の、市や県、国の取り組みについて資料から読み取り、相互に協力し合っていることについて考える。	・震災発生から、市や県、国が対応するまでの時間が非常に短かったことや、国全体で協力体制を整えたことをとらえさせる。

3	【災害復旧に向けた国の支援】 ・災害復旧の取り組みは、国の政治の働きによるものであることを理解する。	・震災発生から、短期間で予算や法律が決まったことに気付かせる。 ・市や県、国が連携して取り組んでいることに気付かせる。
4	【税金について調べる】 ・なぜ税金は納めなければいけないのか、税金の使われ方について調べ、標語にまとめる。	・I C Tを活用して調べ学習に取り組む。
5 本時	【税金の働きを調べる】 ・災害復旧のための補正予算の費用が税金から出ていることを知り、税金の大切さについて考える。	・税金がどのような用途に使われているのかを知るとともに、税金の必要性について考えさせる。
6	【復興を願う市や市民の取り組み】 ・復興に向けての気仙沼市の計画や取り組みについて、関心をもって調べる。	・気仙沼市の被害の状況から震災前の生活に戻るために必要な物を考えさせる。
7	【様々な支援と絆】 ・復興に向けた様々な取り組みの中で、多くの支援があったことを理解する。	・被災地を励まそうとする多くのスポーツ選手や芸能人が被災地を訪れ、イベントを行ったことを紹介する。
8	【学習のまとめ】 ・学習してきたことを振り返り、新聞にまとめる。	・これまで学習してきたことをノートやワークシートをもとに振り返らせる。 ・標語にまとめ、コンクールに応募する。

4 実践にあたって

《税に関する標語コンクールへの応募》

税金について正しく理解している児童が少なかったため、インターネットを活用して、税金について調べる活動を取り入れた。税金は私たちの生活に関わっていること、自分たちも税金を納めていることに気付くことができた。そして、それぞれの学んだことを標語にまとめ、コンクールに応募する活動に取り組んだ。

【税に関する標語 作品例】

- あなたの町の その税金 豊かな国の第一歩
- 税金で 輝く未来と 大きな夢
- 税金は 未来につながる お助けヒーロー

5 本時の学習について

(1) 指導について

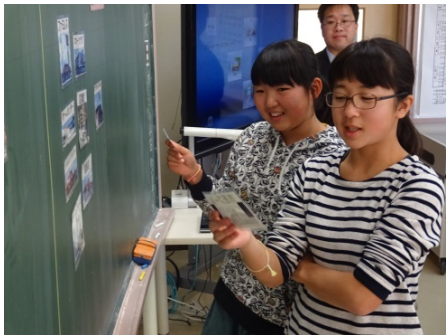
【本時の目標】

- ・税金の働きを知ることにより，税金の必要性や大切さを理解する。

【評価基準】

- ・税金の働きについて関心をもち，意欲的に調べようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・税金の働きについて正しく理解している。(知識・理解)

(2) 学習過程

段階	主な学習活動	学習の様子
導入 5分	1 本時の学習課題を知る。 税金の働きについて考えよう。 2 外部講師の紹介をする。	・講師の青山さんを紹介する。 
展開 33分	3 講師の方の話を聞き，税金について考える。 ○知っている税金を挙げる。 C：消費税，所得税・・・など ○一億円のレプリカを持ち，量や重さを体験する。 C：予想していたよりも重い。 ○税収が約57兆円であることを知る。 C：一億円が57万個分！ ○税金を払う必要があるかどうか発表する。 C：払う必要がある・・・19人 C：払う必要はない・・・0人 ○税金の使われ方を考える。 ・税金が使われているものとそうでないものにカードを分ける。 ○DVD『マリンとヤマト不思議な日曜日』を視聴し，税金の必要性を知る。 C：税金がなくなったらどうなるかを知る。 C：消防車も救急車も，交番の利用も有料になってしまう。	・事前に調べたことをもと，発言をうながす。  【1億円は予想以上に重たい！】  【信号機って税金かな？】

	○国民の三大義務について知る。 C：税金を納めることは国民としての義務だったんだ。	 【DVDを鑑賞して、税金の必要性について考えた】
まとめ 7分	4 本時を振り返り質問や感想を発表する。 C：最も税率の高い税金は何か。 C：税金が無くなってしまったら、これまで当たり前だったことが当たり前ではなくなってしまう。	

6 租税教室を終えての児童の感想

- 税金について勉強するまでは、税収は大体1億円くらいだと思っていたけれど、57兆円も国民から納められていることを知って驚いた。
- 税金は、自分のためにもなるし、みんなのためにもなっているので、改めて払わなくてはいけないものと思った。
- 今の生活を保つためにも税金は必要だと思う。
- 税金は夢のある国を作るために必要なものなんだと思う。
- 正直、税金がなくても日本はお金持ちの国だと思っていた。けれど、税金によって国は成り立っていることを知った。
- 消費税8%！中途半端だから必要ないと思っていました。けれどDVDを観て、税金がなくなった世界は恐ろしいと感じました。
- 自分のため、周りの人のための税金だと思う。
- 税金でみんなが支え合って生活できているんだと思った。
- 1年間の税収57兆円を重さに変えると・・・570万kgに驚いた。
- 税金の無い世界では、今自分たちがしている当たり前が制限されてしまいます。本当に税金が無い世界になってしまったらと思うとぞっとします。